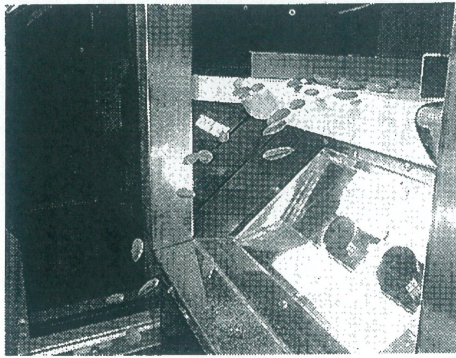


富士倉庫

富士倉庫は、ナッツの選別を可能とし、検査品質の向上と省人化の自動化を進めるAI選別機を導入している。AI選別機を導入してからは、従来の色彩選別機では検出できなかった「形状不良」「虫ズル」「殻つき」「樹脂異物」といったアーモンドに発生する不良品



AI選別機の導入によって従来の色彩選別機では検出できなかった「形状不良」「虫ズル」「殻つき」といったアーモンドに発生する不良品の選別が可能になった

対応していく。倉庫業を営む同社は、日々世界各地からバイヤーが買い付けたアーモンドなどの穀物、農作物が保管されているが、同社では保管業だけでなく流通加工サービスの一環として、顧客の要望に沿っ

数多くのナッツ類の選別業務を行っているが、その中でもアーモンドの選別は大きな比重を占めている。アーモンドの用途は、ティーブルナッツ用のものから、加工用まで多岐にわたる。顧客の求める品質基準に沿って選別

同社にとって、従来のアーモンド選別装置の主流である、色彩選別（カラーソーター）では検出できない不良品目の検出手法の開発が課題だった。

AI技術を活用したAI選別機を導入したことで、色彩選別機では検出できなかったアーモンド独特の不良品検出を実現。特に、アーモンドの身と色味が酷似している不良項目であ

同社は1946年に創業。創業当時は保管事業のみ行っていたが、その時々の顧客のニーズに応えながら、通関、フォワーディング、食品選別と、物流のさまざまなノウハウを身に付けて事業を拡大してきた。多様な機

制度づくりにも注力している。今回の導入に当たり、坂口雅彦社長は「今回AI選別機を導入したことで、属人化していたアーモンド選別作業を標準化できたことに加え、既存の選別機では実現できなかった高度な選別能力を手に入れることができ、食の安全に寄与する選別作業に対する必要は根強く、かつ要求レベルも高い。アーモンドに関しては、AI選別機がそれに応える一つの解と考えている。この取組みが日本の食の発展の一助となるよう、引き続き選別作業に対して真摯（しんし）に取り組みしていきたい」と話す。

アーモンドAI選別機導入

検査品質向上と省人化実現

た選別作業を行っている。19年に横浜・本牧ふ頭保税地区の倉庫内に落花生選別工場を稼働。保税地域外の選別工場へ運送せずに選別できることがメリットとなっていて、原料の保管業務と選別作業のワンストップ化を実現している。

作業を行う必要があり、不良品や異物の除去は特に厳しい品質管理が求められる。かねて選別作業の課題として、選別品質の向上と省人化があった。先進的に倉庫のD

や異物混入を識別することができないため、人の手による選別に頼らざるを得ない状況にあり、また不良はアーモンドの表裏両面に発生するため、作業には熟練の作業者が求められる。人手不足が加速

る「殻つき」「殻の大きさ」「ダブル」「樹脂異物」「虫ズル」といった特徴の不良を100%の検出率で判別が可能になった。熟練の作業員でなくとも異常部の選別が可能となり、検査品質の安定化と省

方法で管理。近年は有機農産物、有機加工食品、有機飼料、コーヒー豆、ナッツ類の保管に特化している。「企業は人なり」をモットーに、社員が気持ちよく働ける環境・

（三井物産）